

健康のひろば

—37—

地元の医師がアドバイス

—林野での肉体労働が続いていま

すが、このところ時々胸に鈍痛や圧迫感があり、胸に重い物を乗せられたような締め付けがあり、痛みは五分から七分程度で収まっています。心配です。

(風運・作業員・五十七歳)

—☆—

「狭心症」が考えられますので、なるべく早くかかりつけ

医または循環器科を受診して下さい。

心臓はご存じのように全身に酸素や栄養分を送るために毎分五リもの血液を拍出するポンプの役割を果たしています。しかも心臓にお休みはなく、一日二十四時間、一年三百六十五日、何十年も休まずに動き続けています。この心臓のエネ

ルギーの源は、心臓の筋肉(心筋)へ血液を供給する冠状態

脈です。この血管は大動脈の付け根から

分かれ、心臓全体を取り巻くように三本の枝が分布しています。この重要な血管が細くなり、必要な酸素が不足するのが狭心症です。また、冠状態が完全に話

まってしまうのが心筋梗塞で、両者を合わせて冠状態疾患あるいは虚血性心疾患と総称します。狭心症の原因は動脈硬化が主体です

が、ご質問のように危険因子があればさらに発病の可能性が高まります。疑わしい症状のある方は、心電図検査が必須です。症状のあるときに検査を受ける機会には殆どありませんから、長時間記録心電図(ホルター心電図)や運動負荷心電図も場合によっては必要です。心臓の超音波検査(エコー)も診断の一助となります。これらから、狭心症の疑いが濃厚な

場合、心筋シンチグラムや冠動脈造影検査が必要となりますので、当地方のセンター病院である名寄市立総合病院循環器内科での精密検査をお願いすることになります。従来は外来検査には限度がありましたが、近年は冠動脈の造影CT検査が可能となり、被験者の負担はかなり軽減されています。

冠状態が狭いところ(狭窄)が認められた場合、状態に応じて治療法が選択されます。代表的な治療は薬物療法・カテーテル治療(風船療法)・手術療法(バイパス手術)ですが、まずは診断が急がれますので、かかりつけ医にご相談ください。



(あかいし内科医院 院長・赤石直之)

胸に鈍痛や圧迫感あり